



誰しもが忘れられない日となった3月11日14時46分。あなたは何をしていましたか？私は30分前には本社工場3階の事務所にいましたが、地震に遭ったのはふじやま2階に戻ったときでした。おそらく工場の揺れは相当ひどかったのだと思います。東北の現地では時間が経つにつれ、被害状況がはっきりしてきました。家族の一員である、被災したワンちゃんたちの問題も出てきています。獣医さんたちも立ち上がるということです。まさか、あの地震に誘発されたのではないでしょうが、3月15日22:30の富士宮市を震源にした地震がありました。当社本社工場の機械は移動し、3階の事務所は手の付けようもないほどいろんなものが落ちたり倒れてしまいました。機械が復旧するまでに4~5日かかりましたが幸い無事に稼働し、東北地方の被災地に送る支援物資の調達にも何とか応じられるようになりました。同じ富士、富士宮でも被害の大小があったようです。皆さまの職場や家庭はいかがだったでしょうか？

東日本大震災ではかなりの人が亡くなってしまいました。現在も避難生活は続いています。家族の行方もわからない人が多くいらっしゃいますから復旧工事なども思うように進まない状態のようです。今、行われている計画停電は昔のことを思えば何てことありません。私の小さい頃はよく台風が来たので停電もしました。不謹慎ですが、子ども心にろうそくの灯で家族や近所の子どもたちと一緒に過ごしたことを懐かしく思い出します。すべての国民が少しずつ気をつけたらかなりの節電になります。ふじやま店でもあれから一切エアコンは使用しません。帰宅するときにはパソコンの電源等、コンセントから外すことにしています。しかし夏を迎えるころには事務所も暑くエアコンなしでは過ごせなくなります。クールビズ対策も今のうちしておく必要があると考えています。



「生シラス丼と
「桜エビのかき揚げ」



シラスの釜揚げ風景(田子の浦にて)

富士市は、山あり海ありのとっても風光明媚な土地柄です。新幹線「新富士駅」を降りると富士山が真正面に聳え立っています。この時季になると市内宮島に住む友人から「旗(大漁)が上がったよ」とメールがあります。去年は不漁で美味しいシラスが食べられませんでした。今年も解禁になってしばらく獲れない日が続きましたが4月2日土曜日には生シラスが手に入り、ネギとしょうがとポン酢(私流の食べ方)で美味しくいただきました。



コミュニティを大切に！



我が家の畑も作付けをする時期になったので最近、活気付いてきました。主人は買ったばかりの耕運機の操作を近所の渡邊美治さんから習いました。初めは機械に使われていましたが、コツをつかんですぐに使いこなしていました。やはり道具は素晴らしい感動です。昨年11月号でもご紹介した我が家の果樹園ですが「富士山めぐりぽつと」の計画ではイベント会場に使用する話がでています。もちろん梅の木や柿の木は残して、その中で「おやじバンドフェス」等が開催できればと考えています。(第1回三日市浅間神社で行うおやじバンドフェスは地震のため中止になりましたが、第2回は7月17日に行うことになっています) サツマイモも植えるつもりです。東日本大震災をきっかけにもう少し昔のような生活を見直すべきではないかと50歳を過ぎた数人の仲間といつも話しています。伝法町というところは富士市の中でもかなり広範囲にわたっていますが、私の住むところは「本村」と言って非常に古くからの土地柄です。私が嫁に来た頃(33年前)は困惑することもありましたが、高齢者も多く、教わることも多くあり、お祭りや葬儀時などでは一致団結して事にあたるので今では安心して楽しく生活しています。